

**種目：沢登り**

山域：美山町芦生

場所：京都府

日時：9/14-15

天候：曇り・晴れ

メンバー：石野・横小路・玉田・大塚・田代・大本



遊行開始



2段 15m



トップで頑張る大本

今週は、大山の甲川遊行とアブミトレーニングもこなして意気込んでいたのだが、あいにくの週末が雨の為に増水で免れないと予想して、無難な京都演習林の沢泊に切り替えた。大山の楽しみはまた来年にとっておこう。

**14日 晴れ カラオ谷遊行 --- 演習林キャンプ泊**

5時に大本、玉ちゃんと待ち合わせ、加古川で横小路、石野氏と合流して美山町へ向かう。恵ちゃんとは162号で待ち合わせていたが彼女のほうが30分も早かった。

美山町の合掌造りの茅葺きの素晴らしい家並みを通り過ぎ、由良川源流沿いに続く演習林への途中で田歌の1.5km上流に「カラオ谷」出合いがある。その最初の「カラオ谷入川道」の標識のそばに駐車する。

由良川源流と佐々里川とが分かれる手前、3等三角点の標高826.3mの大倉谷山から北流する谷が「カラオ谷」である。



ゴルジュ帯に突入

石野氏曰く「沢は大きくないが、いきなりのゴルジュ帯でも片目のケンケンでは行けない」と最初からみんなに脅しをかける。

本流からの出合いは「なんとショボイ沢」のイメージであるが、なるほど少しも遊行しないうちに両岸が30~40mの岩壁が



最難関の滝に挑む、大本



絶妙のバランスでチムニーを抜ける、石野氏



シャワーの洗礼を受ける玉ちゃん

立ちはだかり一挙にゴルジュ帯に一変する。二俣5mの滝はトップの大本が右からなんなくクリアして恵ちゃんにロープを出してやる。ほどよく小滝をクリアして行くと、3段30mの大滝が現れる、大本が本流をシャワーしながら挑むがもう少しの所でホールドがなく、危ない下降を強いられる。右のルンゼに石野氏は取り付くが、かぶったハンクでキョン足のパワーテクニックで、見ているほうが冷や冷やしながらも無事にクリア・・・、早速ロープを出してもらい横さんが挑むが慣れないチムニーに右往左往してまい撤退！、ビデオをしまい私が大本の肩を借りて手がかりハーケンを打ち中腹でピレーをとり4人を引き上げる、実に小1時間はかかってしまった。この沢ではここが一番の難関であった。

次から次ぎへと滝が現れて、楽しませてくれる。中でも6mの滝はシャワーで



ノーロープで頑張る恵ちゃん



キャンプ地へ10kgのテント担ぐ、大本



焚き火でキャンプファイヤー

やばそうだったが大本と入れ替わり石野氏が何とかクリア、早速にロープピレーで楽しませてもらった(^o^).

両手両足を突っ張ってのヘツリもなかなか面白いところでこれでもかっ！と言わんばかりに飽きさせない。沢も枯れてくるころには周りも一変して素晴らしい大自然、まさにモノノケの世界に入ったように鹿も現れて彷彿させてくれる。15分ほど急登して稜線に上がり西の大倉谷山へと足を延ばして、昼食タイムをとる。下山は稜線を引き返して2つ目の尾根を北へ下っていくのだが途中だだっ広いところで左に寄りそれて一本右の尾根を下ったがこれが正解で程良く視界も開けていて良かった。

着替えを済まし、演習林Pに車を移動して、泊装備でモンベルテント10kgを担ぎ約1.5時間ほど演習林を歩き川沿いの開けた杉林の中でキャンプファイヤーをする。



自然がそのままの由良川源流



6mの渋い滝を攀じる玉ちゃん



ピレーヤーの石野氏、カメラマンの私

### 15日 曇り/晴れ アヒノ谷 遊行

沢装備で由良川本流を約1時間遡上するとアヒノ谷出合いに着く。

見る限り、いきなりの小滝の連爆で遊行意欲がかき立てられる。今日は私がトップで上からビデオ撮影をする。連爆続きでおもしろいことこの上ない、緊張の連続でコンセンレーションを高めて直登で登りロープビレイでビデオ撮影と多忙しである。斜爆、チョックストーンフォール、垂壁滝、ナメ滝、ゴルジュ滝、クラック滝、二俣滝、小滝と数え上げればきりがなほど楽しませてくれる。沢切れでは左の尾根へ急登すると、踏み後らしき登山道が残っていてその尾根伝いに南に降りていく。この演習林は人によって植林されていないのでクマ笹も群生していなく、苔むした老木にキノコが生えていたり、何とエビネランが蘇生しているのには驚いてしまった、下界で造るどんな盆栽よりも素晴らしい価値がある。また山

中では落雷により巨大杉の破壊された無惨な光景・・・と色々な事に感動した芦生の沢であった。しかし遊行の緊張感としては昨日のカラオ谷のほうが上だし、下山の地形図



股裂き歩行の、横さん



12mの斜爆を攀じる、大本

読解力も上だと私は思う。

ともあれ、この素晴らしい二つの沢を遊行できたことに沢の神と山の神に感謝するしだいである。

帰道は恵ちゃんの帰路の162号線、9号線、1号線と乗り継ぎ京都南ICから山陽自動車道に入って帰路についたが、時間的に

込んでいて高速代は2600円と高いし時間はかかるので逆効果であった(^\_^;)。

